

緑の基本計画

第四期行動計画

～令和3年度事業評価のまとめ～



評価シートの結果について

1 評価

稲城市自然環境保全審議会委員に5段階（◎、○、△、×、－）で評価していただいたものを点数化し、その平均値を四捨五入し判定します。評価の点数は次のとおりです。

◎＝3点、○＝2点、△＝1点、×＝0点、－＝－1点

※例えば、平均値が1.5点であれば2点となるので全体の評価は○になり、1.4点であれば1点となるので全体の評価は△となります。

2 評価理由

稲城市自然環境保全審議会委員からいただいたご意見をランダムに掲載しております。

目次・総合評価表

施策番号	施策名	担当課	◎	○	△	×	-	平均	総合評価
1-1	自然環境保全地域の指定・拡充	緑と環境課	4	5	1	0	1	2.09	○
1-2	樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	緑と環境課	1	0	1	8	1	0.36	×
2-1	生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備	土木課	1	2	1	7	0	0.73	△
2-1	生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備	区画整理課	0	0	0	0	11	0.00	-
2-2	既成市街地での適切な公園配置方針の策定	緑と環境課	0	8	3	0	0	1.73	○
2-3	借地公園制度の運用検討	緑と環境課	0	0	0	0	11	0.00	-
2-4	身近な公園の再整備	緑と環境課	2	9	0	0	0	2.18	○
2-5	公共施設の緑化	教育総務課	2	8	1	0	0	2.09	○
2-5	公共施設の緑化	指導課	6	4	1	0	0	2.45	○
2-5	公共施設の緑化	子育て支援課	8	3	0	0	0	2.73	◎
2-5	公共施設の緑化	生涯学習課	3	8	0	0	0	2.27	○
2-5	公共施設の緑化	市民協働課	2	6	1	1	1	1.73	○
2-5	公共施設の緑化	健康課	1	0	6	4	0	0.82	△
2-5	公共施設の緑化	市立病院管理課	4	7	0	0	0	2.36	○
2-5	公共施設の緑化	図書館課	1	10	0	0	0	2.09	○
2-6	自然樹形を感じさせる維持管理の検討	緑と環境課	1	9	1	0	0	2.00	○
2-6	自然樹形を感じさせる維持管理の検討	管理課	1	8	2	0	0	1.91	○
3-1	土地区画整理事業による公園・緑地の整備(市施行)	区画整理課	0	0	0	0	11	0.00	-
3-1	土地区画整理事業による公園・緑地の整備(組合施行)	区画整理課	0	1	0	9	1	0.18	×
3-2	公共施設の緑化	教育総務課	3	7	1	0	0	2.18	○
3-3	地区計画区域の拡充と緑化率条例の検討	まちづくり計画課	0	0	0	0	11	0.00	-
3-4	四季折々に楽しめる街路樹の整備(市施行)	区画整理課	0	0	0	0	11	0.00	-
3-4	四季折々に楽しめる街路樹の整備(組合施行)	区画整理課	1	0	2	7	1	0.45	×
4-1	駅前緑化プロジェクト	区画整理課	0	0	0	0	11	0.00	-
5-1	市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	緑と環境課	1	0	1	9	0	0.36	×
5-1	市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	区画整理課	0	1	5	5	0	0.64	△
5-2	各種普及啓発活動の実施	緑と環境課	0	0	0	0	11	0.00	-
5-2	各種普及啓発活動の実施	管理課	0	11	0	0	0	2.00	○
5-2	各種普及啓発活動の実施	指導課	3	8	0	0	0	2.27	○
5-3	水と緑の情報収集・提供	緑と環境課	1	9	0	1	0	1.91	○
他1	緑化推進基金の活用方針の検討	緑と環境課	1	8	0	0	2	1.73	○
他2	稲城市樹木花卉植栽計画の改定	緑と環境課	1	0	1	8	1	0.36	×

評価シートの記入について

評価 (◎、○、△、×、-)	<p>5段階で評価してください。</p> <p>◎: 高く評価できる(目標を早期に達成できた、努力しているなど)</p> <p>○: 評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)</p> <p>△: やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)</p> <p>×: 評価できない(まったく進んでいないなど)</p> <p>-: 未評価(当該年度は着手時期ではない)</p>
令和3年度事業報告に対する意見	
<p>上段の評価をした理由</p>	

1.「緑の環」の保全活用プロジェクト

1-1 自然環境保全地域の指定・拡充

施策の展開方針	「緑の環」を形成している多摩丘陵の斜面緑地は、市内のどこからでも目にすることができるなど、稲城の緑の骨格として緑豊かな稲城のイメージの源泉となっています。 市街地から見える景観的に重要な樹林地や谷戸沿いの樹林地、生物多様性が高い樹林地の保全を図るため、自然環境保全地域の指定・拡充を図り、景観や生物多様性の向上に努めます。
担当課	緑と環境課
対象施設など	良好な民有樹林
10年間の目標	18箇所 16.3haを保全地域に指定・拡充する。
展開手法など	「稲城市における自然環境の保護と緑の回復に関する条例」に基づき、自然環境保全地域を指定します。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	17箇所 14.2haを保全地域に指定	
事業目標量	18箇所 16.3haを保全地域に指定・拡充する。	
第三期事業量	平成29年度	薄葉谷戸川東側の斜面緑地
	平成30年度	駒沢学園北側の斜面緑地
	平成31年度	追加指定について検討する。
第四期事業量	令和2年度	駒沢学園北側の斜面緑地の指定
	令和3年度	新規指定候補地の検討
令和3年度事業報告		
事業目標	新規指定候補地の検討	
事業実績	籠谷周辺緑地の追加指定予定(令和4年4月1日)	
担当課評価	○	
評価理由	籠谷周辺緑地の追加指定(0.55ha)の手続きを進めた。	
今後の対応	引き続き市内の良好な民有緑地確保のため、指定候補地を検討する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1箇所以上の指定が実現していることは素晴らしいです。今後も引き続き進めてください。 ・稲城市でも不動産が注目されている地域なので、良質なまとまった土地を指定することは、稲城の緑を守る大事な事業と考えます。 ・毎年、指定地域の面積が増えていることが評価される。 ・10年間の計画の始まる時点で、便宜的に指定順序を決めたと記憶している。それが、着実に指定地域を増やす成果に結びついたように思う。その上で、感触の良い別の候補地を先に進めるなど、臨機応変に動けたことも良かった。 ・今回の籠谷周辺緑地の追加指定により、PDCAのKPI、18箇所の目標を達成することができた。 	

1.「緑の環」の保全活用プロジェクト

1-2 樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援

施策の展開方針	市街地から見える景観的に重要な樹林地や谷戸沿いの樹林地、生物多様性が高い樹林地の保全を図るため、指定された自然環境保全地域の樹林地の育成管理を行う、樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援を行います。
担当課	緑と環境課
対象施設など	穴澤天神社・よみうりランド北側緑地
10年間の目標	2箇所 1団体(第一期段階) 第二期以降に、実施箇所の追加の検討
展開手法など	穴澤天神社・よみうりランド北側緑地に隣接する、川崎市の小沢城址特別緑地保全地区では、既にボランティアによる樹林地管理が行われています。このボランティア団体と連携を図りながら、稲城市側でも樹林地管理ボランティアを組織化していきます。他の樹林地管理についても、その管理ノウハウを広めていきます。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	民有樹林地での活動事例の調査を実施	
事業目標量	2箇所1団体(第一期段階)。第二期以降に実施箇所の追加の検討する。	
第三期事業量	平成29年度	民有樹林地における活動の事例を調査する。
	平成30年度	民有樹林地における活動の事例を調査する。
	平成31年度	5-1で組織化した市民ボランティアを民有地で活動できるよう、検討する。
第四期事業量	令和2年度	樹林地管理計画の策定
	令和3年度	ボランティア活動支援の実施
令和3年度事業報告		
事業目標	ボランティア活動支援の実施	
事業実績	南山西部地区で里山活動を行う団体との情報交換を行った。	
担当課評価	×	
評価理由	事業目標の達成に至っていない。	
今後の対応	市民ボランティアによる民有樹林地の活動方針について再整理を行うとともに、樹林地管理ボランティアの組織化を進める。	

評価 (◎、○、△、×、-)	×評価できない(まったく進んでいないなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<p>・事業目標として掲げた事項と、事業実績とされた事項が全くかみ合っていない。その事情や達成できなかった理由などの分析と報告がない現実は、PDCAの設定と利用が全く機能していないことを示していて、全く評価できない。</p> <p>・当初からの方針や目標は、市民ボランティアの育成や組織化であり、事業タイトルもそう記述されている。途中年次で、ナラ枯れ対応など、阻害要因はあったが、これは人的リソース配分の障害であり、この項目の成果を振り分けるものではない。この項目が進捗しなかったことを率直に認めた上で、その理由や事情をふまえ、各年次目標を見直していかなければ、PDCAの意味がなくなることに注意していただきたい。担当課による事業報告・自己評価においても、その領域の成果を報告していただきたい。</p> <p>掲げた目標は、長期期間に全く進まなかったのは、何が原因であり何が障害になったのか、十分な検討を次の期間目標に反映していただきたい。この事業目標は難題だが重要なことであり、簡単には看板を変えていただきたくない。</p>	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-1 生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備

施策の展開方針	既成市街地内を流れる大丸用水を活用し、散策路の整備を行い、水と緑の歩行者空間のネットワーク化を進めます。整備を行う際は、身近な親水空間として生態系に配慮した護岸整備などを進めていきます。
担当課	土木課・区画整理課
対象施設など	菅堀・新堀・中野島用水堀
10年間の目標	3,362mの整備
展開手法など	菅堀は、第四次稲城市長期総合計画に基づきながら、生態系や親水性に配慮した親水公園の整備に努めます。 区画整理事業により整備される主要な用水について、生態系や親水性への配慮を事業計画に盛り込み、整備を進めていきます。
備考	土地区画整理事業区域内は区画整理課が担当し、その他は土木課が担当する。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
令和3年3月末の状況	菅堀整備予定延長420mのうち、150mの整備が完了	
事業目標量	菅堀を整備する。令和4年度に事業完了予定	
第三期事業量	平成29年度	菅堀150mの整備⇒事業なし(工事不調)
	平成30年度	菅堀120mの整備⇒菅堀120mの設計
	平成31年度	菅堀150mの整備・事業完了⇒菅堀150mの整備
第四期事業量	令和2年度	菅堀150mの設計⇒(H29に実施予定だった設計。工事は令和4年度)
	令和3年度	菅堀120mの整備⇒(H30に実施予定だった整備)
令和3年度事業報告		
事業目標	菅堀120mの整備	
事業実績	-	
担当課評価	×	
評価理由	予算の確保が出来ず、予定していた事業が出来なかったため	
今後の対応	年度ごとの整備延長を短くし、継続的に事業を進めていく	

評価 (◎、○、△、×、-)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<p>・本年度に事業が全くできなかったということであれば、×評価はやむを得ません。ただしその理由が「予算が確保できなかった」ということであれば、担当部署の責とはいえないこととなりますが、長期計画が予算に反映されないといった齟齬は、どこから来たのか、評価者にも判るように記述していただきたかったです。その問題を解決しない限り、担当課ごとの目標と実績は意味をなさなくなってしまいます。</p> <p>・親水公園の整備は、市民にとって大変魅力的な整備計画ですので、引き続きのご努力を期待いたします。</p> <p>・都心に近い稲城市は、生態系、親水性を持つ貴重な立地です。配慮のある整備をして欲しい。</p>	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-1 生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備

担当課名	区画整理課	
令和3年3月末の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・榎戸土地区画整理事業: 中堀系水路62mの整備完了 ・矢野口駅周辺土地区画整理事業: 田川系45mの整備完了 ・稲城長沼駅周辺土地区画整理事業: 新堀系196mの整備完了 ・南多摩駅周辺土地区画整理事業: 清水川系15mの整備完了 	
事業目標量	新堀・中野島用水堀などを整備する。	
第三期事業量	平成29年度	-
	平成30年度	・榎戸土地区画整理事業: 清水川系(25m)
	平成31年度	-
第四期事業量	令和2年度	-
	令和3年度	-
令和3年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	-未評価(当該年度は着手時期ではない)
令和3年度事業報告に対する意見	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-2 既成市街地での適切な公園配置方針の策定

施策の展開方針	既成市街地で公園が少ない区域では、身近な緑の拠点づくりとして、適切な公園配置方針の策定を行います。
担当課	緑と環境課
対象施設など	既成市街地
10年間の目標	第二期終了時点(平成28年度末)までに、公園配置方針を策定
展開手法など	公園利用の実態などの不足状況の調査を実施し、まちづくりのあり方に合わせて、市民ニーズを踏まえた公園の配置方針を策定します。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	既成市街地での適切な公園配置方針や生物多様性を考慮した公園配置方針の検討を実施	
事業目標量	第二期終了時点(平成28年度末)までに、公園配置方針を策定する。	
第三期事業量	平成29年度	これまで検討した既成市街地での公園配置方針に加え、生物多様性を考慮した公園・緑地の配置方針について検討する。
	平成30年度	平成29年度に検討した結果を踏まえ、既成市街地での適切な公園配置方針の策定をする。
	平成31年度	
第四期事業量	令和2年度	公園の配置方針を踏まえた公園整備方針の策定
	令和3年度	公園の配置方針を踏まえた公園整備方針の策定
令和3年度事業報告		
事業目標	公園の配置方針を踏まえた公園整備方針の策定	
事業実績	策定に向けて検討を実施した。	
担当課評価	○	
評価理由	緑の基本計画の改定に合わせ検討を進めている。	
今後の対応	本年度改定を予定している緑の基本計画に反映する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<p>・公園整備は、利用者の意見等も取り入れて進めていただければと考えます。また、防災時対応を考慮した施設も可能な限り配慮いただくと助かります。</p> <p>・市民が親しむ公園と生物多様性を考慮した公園(中央公園の樹林部、城山公園の樹林部など)の整備方針を策定して次の緑の基本計画に反映することが必要</p> <p>・表題にある「既成市街地での適切な公園配置の策定」は、当初、第二期行動計画中に行う予定だった、第二、第三、第四期をかけて検討が進んだということなので、次の10年間の基本計画の中では、ぜひ公園配置そのものを実行して欲しい。どのような形に纏まったのか詳細は示されていないが、期待をこめて○とする。大規模な災害が起きた場合に、公園など開けた空間が確保されていることが、住民の命を守るためにも重要なので、速やかに実行すべき。</p>	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-3 借地公園制度の運用検討

施策の展開方針	新たな公園整備が困難な場合、借地公園制度を活用し、借地による公園整備を行います。
担当課	緑と環境課
対象施設など	一定基準を満たすちびっ子広場など
10年間の目標	4公園(第一期)
展開手法など	一定基準を満たすちびっ子広場などを活用して、借地による公園整備を行います。 既成市街地での適切な公園配置方針を踏まえ検討します。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場などのちびっ子広場の公有地化について検討した	
事業目標量	4公園(第一期)、第二期以降は地権者の意向などを踏まえながら柔軟に対応していく。	
第三期事業量	平成29年度	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の公有地化を検討する。
	平成30年度	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の公有地化を検討する(継続)。
	平成31年度	下塚戸ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の公有地化を検討する(継続)。
第四期事業量	令和2年度	-
	令和3年度	-
令和3月年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	
令和3年度事業報告に対する意見	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-4 身近な公園の再整備

施策の展開方針	老朽化した身近な公園は、子どもから高齢者までが気持ちよく使え、楽しく魅力ある公園となるよう、整備内容や整備後の維持管理などについて、地域住民との協働による再整備を進めていきます。
担当課	緑と環境課
対象施設など	街区公園など身近な公園
10年間の目標	点検調査結果、市民の声などを踏まえて、必要に応じて再整備
展開手法など	再整備にあたっては、地域住民からなる検討会などとの協働による整備を進めます。 アダプト制度を活用した、地域住民による公園管理も視野に入れた公園の再整備に努めます。 再整備にあたっては、公園施設の点検結果などを踏まえて検討を進めます。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	点検調査結果、市民の声などを踏まえて、必要に応じて再整備を実施	
事業目標量	街区公園など身近な公園を再整備する。	
第三期事業量	平成29年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
	平成30年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
	平成31年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
第四期事業量	令和2年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
	令和3年度	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。
令和3年度事業報告		
事業目標	地域との連携を図りながら、公園の再整備を図る。	
事業実績	・遊具の安全点検に基づき撤去した遊具の更新等を実施した。 ・吉方公園の改修整備に向けて、市民参画による協議会、庁内検討会の設置準備を進めた。	
担当課評価	○	
評価理由	遊具の更新等による公園の再整備が図れたため。	
今後の対応	・引き続き、遊具の安全点検結果に基づき遊具の更新等を行う。 ・地域住民、関係団体、公募委員で構成される協議会を設置し、吉方公園の改修整備方針を検討する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携しながら身近な公園の再整備を検討し、可能なものから着手する姿勢は高く評価できる。 ・事業目標が抽象的なため、実績報告が少しでもあれば進捗と評価せざるを得ません。目標と実績報告に内容的な乖離があるように感じております。実績報告内容も、「再整備」というよりメンテナンス行動のように見えます。地域連携として、どのような、また、どれほどの意見集約がなされたのか、伺いたく思います。 ・身近な公園の再整備は着実に行われていることが評価できる。 ・老朽化した公園の再整備は是非進めて欲しい。 ・地域住民の声を聞きながらの公園作り、とても良いと思います。 ・身近な公園の再整備、遊具等の安全点検は極めて重要な施策の1つであります。引き続きのご努力を期待しております。 ・子供から高齢者まで利用できる公園づくりをぜひ進めて欲しい。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

施策の展開方針	公共施設は、身近に緑を感じられる拠点として、緑豊かなまちづくりの先導的な役割を果たすよう、広がりと厚みを持った緑の創出に努めていきます。
担当課	教育総務課・指導課・子育て支援課・生涯学習課・市民協働課・健康課・市立病院管理課・図書館課
対象施設など	市所管全公共施設
10年間の目標	市立保育園、市立小中学校、文化センター、地域振興プラザ、市立病院、城山体験学習館などで緑化の充実
展開手法など	既存施設では、緑化可能場所を対象に、屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなどの緑化を進め、既に整備済の箇所については維持に努めていきます。

担当課別行動計画

担当課名	教育総務課	
令和3年3月末の状況	一部芝生化した校庭(6校)、屋上緑化(2校)の維持。	
事業目標量	一部芝生化した校庭(6校)、屋上緑化(2校)の維持。	
第三期事業量	平成29年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
	平成30年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
	平成31年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
第四期事業量	令和2年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
	令和3年度	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)
令和3年度事業報告		
事業目標	一部芝生化した校庭の維持(6校) 屋上緑化の維持(2校)	
事業実績	一部芝生化した校庭の維持、屋上緑化の維持を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	一部芝生化した校庭の維持、屋上緑化の維持を行っている。	
今後の対応	引き続き一部芝生化した校庭の維持、屋上緑化の維持を行う。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<p>・芝生化した校庭は5月～9月頃まで雑草がはびこり早朝や夕方生徒の協力を得てこまめな管理が出来れば癒しの校庭となります。この時期は毎月2回程度の草刈りも必要です。協力体制をつくり管理が出来ればと願っています。屋上緑化は目立たない場所にありますが散水等を心がけて欲しい。</p> <p>・一部の学校では良好な状況を維持していると思われるが、すべての学校で同じ状況ではないと考えられる。そのためすべての学校での判断は厳しくなってしまう。</p> <p>・地道な活動が評価される。</p> <p>・緑のカーテンの幅をもっと増やしても良いと思う。</p> <p>・公共施設の緑化は、都市化が進むほど施策の重要性が増加するようです。引き続きよろしくお願いたします。</p>	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

担当課名	指導課	
令和3年3月末の状況	小中学校18校で緑のカーテンを継続している。	
事業目標量	小中学校17校で緑のカーテンを実施する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
	平成30年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
	平成31年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
第四期事業量	令和2年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
	令和3年度	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	小中学校18校で緑のカーテンを継続する。	
事業実績	小中学校18校で緑のカーテンを設置した。	
担当課評価	◎	
評価理由	環境に配慮した暑さ対策を講じ、よりよい学習環境の確保が図れている。	
今後の対応	継続して実施いたしたい。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンは定着しましたので維持管理に心がけていただきたいです。 ・地道な活動が評価される。 ・ヒートアイランド現象の緩和に役立っていることを期待する。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

担当課名	子育て支援課	
令和3年3月末の状況	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施を継続	
事業目標量	保育園4園での花壇、緑のカーテン、菜園を実施する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
	平成30年度	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
	平成31年度	公設公営3保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
第四期事業量	令和2年度	公設公営2保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
	令和3年度	公設公営1保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
令和3年度事業報告		
事業目標	公設公営1保育園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)	
事業実績	プランターで夏野菜を育て、花壇では、季節の花を植えている。	
担当課評価	◎	
評価理由	身近に緑のカーテンがあることで、生長を見守ったり、季節を感じるができる。	
今後の対応	花壇・緑のカーテン・菜園の実施を継続していく。	

評価 (◎、○、△、×、－)	◎高く評価できる(目標を早期に達成できた、努力しているなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・花壇・緑のカーテン・菜園も定着しました。夏場の維持管理のローテーションを組んで進めていただければと思います。緑は何と云っても手入れ、水やり、草取りが欠かせません。楽しみながらできる工夫をお願いしたいものです。 ・毎年の新たな取り組みになると思います。継続お疲れ様です。 ・地道な活動が評価される。 ・緑のカーテンによる気化熱効果があることを期待する。菜園では収穫の楽しさ、自分で育てた野菜のおいしさを味わってほしい。 ・菜園をもう少し増やし、食育と喜びを感じて育てて欲しい。 ・教育の一環として菜園や花壇を手入れしていることから、安定して緑が担保されている印象 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

担当課名	生涯学習課	
令和3年3月末の状況	文化センター5館で緑のカーテンを実施。iプラザの屋上緑化を維持。	
事業目標量	文化センター5館で緑のカーテンを実施する。iプラザの屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
	平成30年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
	平成31年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
第四期事業量	令和2年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
	令和3年度	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザの屋上緑化を継続する。	
事業実績	文化センター5館で緑のカーテンを継続している。iプラザ屋上緑化を継続している。	
担当課評価	○	
評価理由	毎年継続して維持できている。	
今後の対応	文化センター5館で緑のカーテンを継続する。iプラザ屋上緑化を継続する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンも定着化したので、その維持管理に努めてほしい。枯れがでるのでその時期には見栄良い手入れをしていただければありがたいです。iプラザの屋上緑化は場所によって育ち方がまちまちなので状況を見ながら散水量の調整も必要と考えます。 ・文化センターとiプラザについては、市民の目に触れる機会が少ないと思いますが、継続していただけてるのであれば評価できます。今後は、より積極的な情報発信に期待します。 ・地道な活動が評価される。 ・維持管理を継続していただきたい。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

担当課名	市民協働課	
令和3年3月末の状況	地域振興プラザの屋上緑化を維持している。	
事業目標量	地域振興プラザの屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
	平成30年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
	平成31年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
第四期事業量	令和2年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
	令和3年度	屋上緑化の維持管理を継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	屋上緑化の維持管理を継続する。	
事業実績	前年度から引き続き屋上緑化の維持管理を継続した。	
担当課評価	○	
評価理由	当初の予定通り、屋上緑化の維持管理を継続した。	
今後の対応	引き続き屋上緑化の維持管理を継続する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら散水量の調整も必要と思います。 ・灌水設備がなく、土厚も少ないなかで、植生の劣化が心配されます。屋上緑化を方針とするのであれば、少なくとも水栓の設置など、必要な対策を講ずることが願わしいです。 ・地域振興プラザの屋上緑化を維持管理することは設備上難しいが、引き続き地道な活動が必要。 ・だいぶ枯れが目立っているような気がする。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

担当課名	健康課	
令和3年3月末の状況	稲城市健康プラザの屋上緑化を維持した。	
事業目標量	稲城市健康プラザの屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
	平成30年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
	平成31年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
第四期事業量	令和2年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
	令和3年度	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	オーエンス健康プラザの屋上緑化を継続する。	
事業実績	リュウノヒゲ(ジャノヒゲ)を植栽して緑化する。	
担当課評価	△	
評価理由	設備不良により、大部分が枯れている。	
今後の対応	修繕及び植栽について今後をどうするかを検討する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・設備の点検等により散水量の確認が必要と思われる。前面がサービス施設であり雑草の種等の飛散がかなり多いのではないかと思います。 ・直近の状況は拝見できていませんが、従前から枯死の進行が目立ち気にしておりました。 ・面積が広いので内部に通路を設けるなど、計画の見直しも必要ですが、規模が大きいだけに、人間的な対策も整えてあるか気になります。組織として業務を位置づけていく必要があると感じております。 ・引き続き、地道な活動が必要。 ・枯れが目立つ。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

担当課名	市立病院 管理課	
令和3年3月末の状況	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続している。	
事業目標量	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
	平成30年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
	平成31年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
第四期事業量	令和2年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
	令和3年度	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を継続する。	
事業実績	健診外来棟:屋上緑化が維持されている。 立体駐車場:屋上のアベリア・ツツジ・ヤマブキ等150㎡は良好に維持されている。	
担当課評価	○	
評価理由	立体駐車場の屋上緑化は目に見える緑の創出・安らぎに貢献し、健診外来棟の屋上の緑化も維持されている。	
今後の対応	稲城市立病院検診センター外来棟、立体駐車場の屋上緑化を維持する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化としては、他に類を見ないほど立派である。土の厚さも50cm以上有、散水設備もしっかりしてる。計画段階から植栽の育成にも十分配慮されていて、庭園化している施設で申し分ありません。 ・駐車場棟屋上は、面積的な限界はあるものの、市内の公共施設屋上緑化の中で、最も良好に管理されていると感じております。 健診センター屋上は、市民の目に触れる機会が少ないと思いますが、今後も頑張られてください。 ・健診外来棟及び立体駐車場の屋上緑化は、よく維持されている。 ・アベリアやヤマブキ等比較的丈夫な樹木が植えられていることが良好な状態を維持している要因と思う。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

担当課名	図書館課	
令和3年3月末の状況	城山体験学習館の屋上緑化を継続している。	
事業目標量	城山体験学習館の屋上緑化を維持する(継続)。	
第三期事業量	平成29年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
	平成30年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
	平成31年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
第四期事業量	令和2年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
	令和3年度	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。	
事業実績	城山体験学習館の屋上緑化を継続している。	
担当課評価	○	
評価理由	概ね実施できている。	
今後の対応	城山体験学習館の屋上緑化を継続する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の森から雑草の種等が飛散してくる中で、良好に維持されている。このまま維持管理されることを期待しています。 ・通常の屋上緑化と異なり、城山公園から見下ろせる位置で市民の目にも触れやすいので、継続に期待します。 ・城山体験学習館の屋上の緑化を維持管理することは設備上難しいと思われるので、乾燥に強い植物を選ぶなどを含め、今後検討していくことが必要。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-6 自然樹形を感じさせる維持管理の検討

施策の展開方針	道路は日常的に市民が利用する空間であり、道路の緑がもたらすイメージは緑の豊かさを感じるための主要な要素になっています。また、広がりや厚みを持った豊かな街路樹のある道路は、季節を感じることができます。これからの街路樹は、それぞれの樹種の特性を活かした自然樹形を感じさせる剪定手法や、美しい花を楽しめる剪定時期の採用など、維持管理手法を検討していきます。
担当課	緑と環境課・管理課
対象施設など	周辺への影響が少ない大規模な公園 周辺への影響が少ない路線
10年間の目標	5公園、8路線
展開手法など	周辺への影響が少ない大規模な公園や市道を対象に、自然樹形を感じさせる樹木管理を行い、街に風格を与えるように努めます。これらのために、緑の育成管理手法の検討、剪定手法など維持管理手法の検討を行います。 都道は、東京都へ協力を要請します。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	
事業目標量	稲城中央公園、城山公園、若葉台公園、大丸公園、平尾近隣公園で実施する。	
第三期事業量	平成29年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。代表的な樹木をホームページに掲載し、PRを行う。
	平成30年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	平成31年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
第四期事業量	令和2年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	令和3年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	
事業実績	自然樹形を感じさせる育成管理を継続した。	
担当課評価	○	
評価理由	自然樹形を保つための剪定を行ったため。	
今後の対応	引き続き自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園は広いので自然樹形も枝抜き等を行い、大きめの剪定で良いのではないのでしょうか。資料の写真では、剪定時期から大分日がたっているため、枝が混んで見えます。従って剪定状況が分かりにくいので、今後は剪定前後の写真を希望します。 ・自然樹形を感じさせる育成管理が継続されていて、地道な努力が評価される。 ・身近な並木道の花木に、花が咲かない年があるのが残念、咲くべき時に咲くのは、自然樹形を感じさせる育成、に準ずると思うので、専門家の知識をお借りして、適切な時期に剪定を発注するよう、ノウハウを引き継いで欲しい。 <p>一度、市内の路線を再チェックして、年間の発注計画を組むと、その後が楽になると思う。</p>	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-6 自然樹形を感じさせる維持管理の検討

担当課名	管理課	
令和3年3月末の状況	自然樹形を感じさせる育成管理を実施した。	
事業目標量	豎神社通り、iプラザふれあいロード、若葉台東櫨の木通り、若葉台西櫨の木通り、若葉台中央通り、若葉台公園西通り、多摩川サイクリングロード、三沢川側道で実施する。	
第三期事業量	平成29年度	追加路線を検討する。自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	平成30年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	平成31年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
第四期事業量	令和2年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
	令和3年度	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。
令和3年度事業報告		
事業目標	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	
事業実績	自然樹形を感じさせる育成管理を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	自然樹形を感じさせる形の剪定を実施した。	
今後の対応	自然樹形を感じさせる育成管理を継続する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹は、道路側を小さくして透かし剪定が良好と考えます。資料の写真は剪定後時間経過があるので、是非剪定直後の写真を提供願いたい。 ・着実に実行されているようで好ましいことです。今後も継続してよろしくお願いします。 日常的に市民の目に触れる機会が多いだけに、より積極的な広報・情報発信をお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none"> ・自然樹形を感じさせる育成管理が継続されていて、地道な努力が評価される。 ・各通りや樹木ごとの剪定後の状況を見ないと判断は難しい。 	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-1 土地区画整理事業による公園・緑地の整備

施策の展開方針	土地区画整理事業により、新市街地の整備とともに、計画的に配置された公園や緑地が整備されます。これらの公園・緑地の整備にあたり、積極的に広がりと厚みを持った緑を創出し、緑につつまれたまちづくりを進めます。また、植栽する樹木には、樹名板を設置して市民が親しみを持てるようにします。
担当課	区画整理課・市街地整備課
対象施設など	新たに設置される公園・緑地
10年間の目標	公園16箇所(120,077㎡) 緑地13箇所(33,911㎡)
展開手法など	事業区域内の権利者や関係団体と協議し、緑の基本計画の考え方が反映されるように、整備内容の検討を進めます。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
令和3年3月末の状況	稲城長沼3号公園(ペアパーク)整備1200㎡	
事業目標量	公園(6箇所)10,488㎡を整備する。	
第三期事業量	平成29年度	
	平成30年度	
	平成31年度	
第四期事業量	令和2年度	-
	令和3年度	-
令和3年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	
令和3年度事業報告に対する意見	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-1 土地区画整理事業による公園・緑地の整備

担当課名	区画整理課	
令和3年3月末の状況	上平尾土地区画整理事業地内の公園2箇所4,164㎡、緑地5箇所17,559㎡ 小田良土地区画整理地内の公園3箇所8,180㎡	
事業目標量	公園10箇所110,589㎡、緑地13箇所33,911㎡	
第三期事業量	平成29年度	南山土地区画整理地内の公園1箇所9,405㎡、緑地2箇所7,479㎡ 上平尾土地区画整理地内の公園2箇所4,164㎡、緑地5箇所17,565㎡
	平成30年度	南山土地区画整理地内の緑地1箇所3,851㎡
	平成31年度	南山土地区画整理地内の緑地3箇所3,026㎡ 小田良土地区画整理地内の公園3箇所8,180㎡
第四期事業量	令和2年度	小田良土地区画整理地内の公園3箇所8,180㎡ 南山土地区画整理地内の公園1箇所220㎡、緑地4箇所12,645㎡
	令和3年度	小田良土地区画整理地内の公園1箇所35,050㎡
		南山土地区画整理地内の公園1箇所220㎡、緑地1箇所2,495㎡
令和3年度事業報告		
事業目標	南山土地区画整理地内の公園4号1箇所220㎡、緑地17号1箇所2,495㎡	
事業実績	未実施	
担当課評価	×	
評価理由	未実施のため	
今後の対応	順調な事業進捗が図れるよう、組合と調整していく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	×評価できない(まったく進んでいないなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
・「相手のある事業」では、時間的な障害も発生しがちと思いますが、積み残しがあるという前提で、今後の進捗に努められてください。	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-2 公共施設の緑化(学校など)

施策の展開方針	稲城市では、土地区画整理事業による新市街地の整備が進められています。新しく整備される市街地では、新たな公共施設の整備もされます。これらについて、積極的に広がりや厚みを持った緑を創出し、緑につつまれたまちづくりを進めます。
担当課	教育総務課
対象施設など	南山小学校における屋上緑化などの緑の創出と維持
10年間の目標	敷地内緑化及び屋上緑化などによる緑の創出と維持
展開手法など	南山小学校について、屋上緑化などの緑の創出を進めます。
備考	2-5に再掲

担当課別行動計画

担当課名	教育総務課	
令和3年3月末の状況	敷地内緑化及び屋上緑化の維持	
事業目標量	南山小学校における敷地内緑化及び屋上緑化などの緑の創出と維持をする。	
第三期事業量	平成29年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
	平成30年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
	平成31年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
第四期事業量	令和2年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
	令和3年度	敷地内緑化及び屋上緑化の維持
令和3年度事業報告		
事業目標	敷地内緑化及び屋上緑化の維持	
事業実績	敷地内緑化及び屋上緑化の維持を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	敷地内緑化及び屋上緑化の維持が出来た。	
今後の対応	引き続き敷地内緑化及び屋上緑化の維持を行う。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内緑化(芝生化)は、良好と判断します。 ・概ね緑化の維持がされている。 ・南山小学校の緑化に関しては、体系的に緑化推進を意識した環境づくりが行なわれていると思います。ビオトープのような池を配し、入口近くに学年別に緑の管理を行っている等、緑化維持のための努力は高く評価できると思います。 	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-3 地区計画区域の拡充と緑化率条例の検討

施策の展開方針	この10年間で整備完了が見込まれている南山東部土地地区画整理事業・上平尾土地地区画整理事業・(仮称)小田良土地地区画整理事業では、適切に緑が確保され、良好な市街地が形成されるように、地区計画区域の拡充を図るとともに、緑化率などの導入について検討を進めていきます。
担当課	まちづくり計画課
対象施設など	南山東部土地地区画整理事業・上平尾土地地区画整理事業・小田良土地地区画整理事業、押立第一地区
10年間の目標	3箇所145.9haの決定
展開手法など	各土地地区画整理事業区域において、地区計画の決定を行います。地区計画の内容に、緑化率などの導入を盛り込むことを検討します。

担当課別行動計画

担当課名	まちづくり計画課	
令和3年3月末の状況	緑化率の制限を盛り込んだ地区計画を7箇所198.0haを決定	
事業目標量	3箇所145.9haを決定する。	
第三期事業量	平成29年度	南山東部土地地区画整理事業の変更に伴う地区計画変更において緑化率の制限する範囲を拡大する。
	平成30年度	既存の地区計画の変更において緑化に関する事項の追加を検討する。
	平成31年度	既存の地区計画の変更において緑化に関する事項の追加を検討する。
第四期事業量	令和2年度	新規策定予定の地区計画において、緑化に関する事項の導入を検討する。
	令和3年度	—
令和3年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	
令和2年度事業報告に対する意見	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-4 四季折々に楽しめる街路樹の整備

施策の展開方針	稲城市では、土地区画整理事業による新市街地の整備が進められています。新しく整備される市街地では、骨格となる道路に街路樹が整備されます。 街路樹の整備は、四季折々に花や紅葉が楽しめるなど季節を感じることでできる樹種を選ぶなど、緑を増やすだけでなく、暮らしにやすらぎをもたらすような工夫をして、緑につつまれたまちづくりを進めます。
担当課	区画整理課
対象施設など	南多摩駅周辺土地区画整理事業、榎戸土地区画整理事業、矢野口駅周辺土地区画整理事業、稲城長沼駅周辺土地区画整理事業、南山東部土地区画整理事業、上平尾土地区画整理事業、小田良土地区画整理事業
10年間の目標	16路線(9,103.8m)
展開手法など	樹種や植栽パターンは、稲城市樹木花卉植栽計画及び地域住民の意見を反映します。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
令和2年3月末の状況	未実施	
事業目標量	5路線(1,539m)を整備する。	
第三期事業量	平成29年度	南多摩駅周辺土地区画整理事業：矢野口大丸線(150m)
	平成30年度	-
	平成31年度	-
第四期事業量	令和2年度	-
	令和3年度	-
評価 (◎、○、△、×、-)		
令和2年度事業報告に対する意見		

担当課名	区画整理課	
令和3年3月末の状況	上平尾地区1路線123m、小田良地区2路線903m	
事業目標量	南山地区9路線4,984m、上平尾地区2路線1,077m、小田良地区2路線903m	
第三期事業量	平成29年度	南山地区4路線1,017mを整備する。
	平成30年度	南山地区3路線632m、小田良地区1路線245mを整備する。
	平成31年度	上平尾地区1路線123m、小田良地区1路線658mを整備する。
第四期事業量	令和2年度	南山地区5路線1,315m
	令和3年度	南山地区3路線1,478m
令和3年度事業報告		
事業目標	南山地区5路線1,478m	
事業実績	未実施	
担当課評価	×	
評価理由	未実施のため。	
今後の対応	順調な事業進捗が図れるよう、組合と調整していく。	

評価 (◎、○、△、×、－)	× 評価できない(まったく進んでいないなど)
令和2年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・組合施行は、実施が決まれば多少の遅れがあっても進捗していくものと考えます。 ・「相手のある事業」では、時間的な障害も発生しがちと思いますが、積み残しがあるという前提で、今後の進捗に努められてください。 	

4. 駅前緑化プロジェクト

4-1 駅・駅前広場の緑化

施策の展開方針	市街地内の南北分断や交通渋滞を解消するために、JR南武線の高架事業を進めています。高架事業の完了にあわせて、JR南武線の稲城長沼駅と南多摩駅には、駅前広場が整備されます。これから新しく整備される駅前広場は、緑を大切にしている稲城市民の気持ちが伝わるような、緑が豊かで心やすらぐ姿となるように広がりと厚みを持った緑の整備を進めていきます。
担当課	区画整理課
対象施設など	JR南武線 稲城長沼駅、南多摩駅の駅前広場の整備
10年間の目標	稲城長沼駅・南多摩駅で緑豊かで心安らぐ駅前広場の整備
展開手法など	事業区間内の地権者や関係団体と、緑豊かな駅前広場の整備内容について検討していきます。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
令和3年3月末の状況	南多摩駅前広場(2,400m ²)整備工事完了	
事業目標量	JR南武線稲城長沼駅、南多摩駅の駅前広場を整備する。	
第三期事業量	平成29年度	-
	平成30年度	-
	平成31年度	-
第四期事業量	令和2年度	-
	令和3年度	-
令和3年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	
令和3年度事業報告に対する意見	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-1 市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援

施策の展開方針	人材の育成と組織化については、水と緑のまちづくりの地域リーダー、樹林地保全活動の指導者、自然観察の指導者、アダプト制度の参加者、公園でのプレイリーダーなど、活動の核となる人材の育成と、その組織化について取り組み、市民団体の知識や技術力向上のための支援、道具や資材などの活動支援について検討していきます。
担当課	緑と環境課・区画整理課
対象施設など	稲城中央公園・城山公園・若葉台公園・南山東部地区内の公園・緑地
10年間の目標	プレイリーダーによる公園運営の定着(稲城中央公園) 樹林地管理ボランティアの活動の定着(稲城中央公園、城山公園)
展開手法など	稲城中央公園の一部区域で、市民主体のプレイリーダーによる公園の運営を軌道にのせるために、市民とともに検討を進めていきます。 城山公園・若葉台公園・南山東部地区内の公園・緑地で市民主体の樹林地の育成活動の展開を進め、樹林地管理ボランティア活動の定着を進めていきます。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	樹林地管理ボランティアの活動方針の検討を実施	
事業目標量	プレイリーダーによる公園運営を定着させる(稲城中央公園)。樹林地管理ボランティアの活動を定着させる(稲城中央公園、城山公園)。	
第三期事業量	平成29年度	プレイリーダー・樹林地管理ボランティアの活動方針の策定
	平成30年度	プレイリーダーの活動試行、樹林地管理ボランティア指導者の選定
	平成31年度	プレイリーダーの活動本格実施、樹林地管理ボランティア指導者の育成
第四期事業量	令和2年度	樹林地管理活動方針及び樹林地管理計画の策定
	令和3年度	ボランティア育成の実施
令和3年度事業報告		
事業目標	ボランティア育成の実施	
事業実績	なし	
担当課評価	×	
評価理由	樹林地管理活動方針及び樹林地管理計画が未策定のため、ボランティア育成に至っていない。	
今後の対応	樹林地管理活動方針及び樹林地管理計画の策定に向け検討を進める。	

評価 (◎、○、△、×、-)	×評価できない(まったく進んでいないなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地管理活動、ボランティア活動方針の検討は新たにチームを編成して地道に進めて行く必要があると考えます。 ・着実な進捗を実現させるための方策について、見直していくことも必要ではないか。市の内部だけの検討では方針策定が困難であるなら、その実情を市民に公開して知恵や協力を求めること、市が制御しやすい活動にこだわることなく、市民パワーを集めやすい形態を模索することも重要と考える。 ・樹林地管理ボランティア育成については、活動することに楽しさがないとボランティアは集まらないし、活動が持続しないので、樹林地管理ボランティアの名称を含め、事業の内容を根本的に見直して、次の緑の基本計画に活かしてほしい。 ・プレイリーダーによる公園運営の定着については、本当に実現性がある事業なのかを根本的に見直す必要があると思う。 ・きっかけは何でもよいと思うが、ナラ枯れなどを題材として公園の樹木に対して関心を持ってもらえるようなネイチャースクール等を開いて、その参加者の中からボランティアを発掘するなどの活動が必要なのではないか。 	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-1 市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援

担当課名	区画整理課	
令和3年3月末の状況	未実施	
事業目標量	エリアマネジメント組織による公園づくり及び維持管理を検討する(南山東部地区)	
第三期事業量	平成29年度	樹林地管理の実施
	平成30年度	樹林地管理の実施
	平成31年度	樹林地管理の実施
第四期事業量	令和2年度	樹林地管理の実施
	令和3年度	樹林地管理の実施
令和3年度事業報告		
事業目標	樹林地管理の実施	
事業実績	公園・緑地あり方検討会開催に向けた課題等の整理	
担当課評価	△	
評価理由	公園・緑地あり方検討会を開催することができなかつたため。	
今後の対応	公園・緑地あり方検討会の開催に向け、課題と対応方針を整理し、組合との協議を進める。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・この件を進めるには5-1に記載したように新たなチーム編成が必要と考えます。このチームには実働部隊も考慮して進めないと実現は難しいものと思えます。 ・事業内容を見直して、実現性のある計画を検討して、次の緑の基本計画に活かしてほしい。 	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-2 各種普及啓発活動の実施

施策の展開方針	稲城市が管理する公共施設の植栽に樹名板を設置し、市民の緑への関心を高め、緑に対し理解を深めていく機会を増やしていきます。
担当課	緑と環境課・管理課・指導課
対象施設など	公園・道路植栽・学校(小学校11校・中学校6校)
10年間の目標	126公園 7路線 17校
展開手法など	児童生徒や多くの市民の目につきやすい主要な部分から樹種の調査を行い、市民による手づくり樹名板などの設置の検討を行います。その他、新たに整備される公園・道路では、主要な場所の植栽に樹名板を設置します。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	学校と連携した樹名板づくりは実施しなかった。	
事業目標量	樹名板を126公園に設置する。	
第三期事業量	平成29年度	樹名板を街区公園(15公園)に設置する。
	平成30年度	樹名板を街区公園(15公園)に設置する。
	平成31年度	樹名板を街区公園(14公園)に設置する。
第四期事業量	令和2年度	学校と連携した樹名板づくりの実施
	令和3年度	学校と連携した樹名板づくりの実施
令和3年度事業報告		
事業目標	学校と連携した樹名板づくりの実施	
事業実績	未実施	
担当課評価	-	
評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施出来なかった。	
今後の対応	学校と連携した樹名板づくりを実施する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	
令和3年度事業報告に対する意見	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-2 各種普及啓発活動の実施

担当課名	管理課	
令和3年3月末の状況	樹名板を設置した。	
事業目標量	樹名板を7路線に設置する。	
第三期事業量	平成29年度	樹名板を2路線に設置する。
	平成30年度	樹名板を2路線に設置する。
	平成31年度	樹名板を3路線に設置する。
第四期事業量	令和2年度	樹名板を1路線に設置する。
	令和3年度	樹名板を1路線に設置する。
令和3年度事業報告		
事業目標	樹名板を1路線に設置する。	
事業実績	樹名板を1路線に設置した。	
担当課評価	○	
評価理由	新規1路線に樹名板を設置した。	
今後の対応	樹名板の設置を進める。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・樹名板は、稲城市で統一デザインで設置すべきと考える。 ・順調に進められているものと思います。ただし実績に関しては、具体の接地路線を具体的に記載してほしい。1路線しかないのだから可能と思います。 ・現行の樹名板には、市の事業として統一感がなく、誰が何のために設置したものが、市民に伝わりにくい印象があります。稲城市が、市内緑化を目標に掲げていて、その意識を市民と共有するために設置活動を進めているイメージが伝わるようなデザイン(目立たせるのではなく)、各課共通で採用されれば、もっと趣旨が伝わるかと思います。(他市には例があるように思います。) ・市民の緑への関心を高め、緑に対し理解を深めていくことに結びつくよう、稲城市ならではの樹名板を作ってはどうでしょうか。 	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-2 各種普及啓発活動の実施

担当課名	指導課	
令和3年3月末の状況	樹名板を13校に設置した	
事業目標量	樹名板を17校に設置する。	
第三期事業量	平成29年度	樹名板を2校に設置する。
	平成30年度	樹名板を2校に設置する。
	平成31年度	樹名板を2校に設置する。
第四期事業量	令和2年度	樹名板を2校に設置する。
	令和3年度	樹名板を2校に設置する。
令和3年度事業報告		
事業目標	樹名板を2校に設置する。	
事業実績	樹名板を1校に設置した。(南山小学校)	
担当課評価	◎	
評価理由	身近な自然環境への理解が深まり、植物や自然への親しみを誘発することができたため。	
今後の対応	今後も継続して実施いたしたい。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・稲城市統一の樹名板とする。 ・順調に進められているものと思います。現行の樹名板には、市の事業として統一感がなく、誰が何のために設置したものが、市民に伝わりにくい印象があります。稲城市が、市内緑化を目標に掲げていて、その意識を市民と共有するために設置活動を進めているイメージが伝わるようなデザイン(目立たせるのではなく)が、各課共通で採用されれば、もっと趣旨が伝わるかと思います。(他市には例があるように思います。) ・今後も継続して実施してほしい。 ・目標通り設置することができた。 ・目標2校に対して1校に設置ができた。 	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-3 水と緑の情報収集・提供

施策の展開方針	水と緑に関する情報を市民と行政が共有化し、より多くの市民自らが積極的に水と緑のまちづくりを進めていけるように、水と緑に関する情報の収集と提供に努めます。
担当課	緑と環境課
対象施設など	市内全域
10年間の目標	ホームページなどによる情報提供の充実 アダプト団体の交流の場の提供と活動の活発化による情報交換の促進
展開手法など	指定管理者との連携を図り、市内各所の花の見所・時期、イベント情報などの公園・緑地の魅力を発信します。 アダプト制度による市民活動の活動報告の場の提供や各種活動団体同士の交流の場の提供などを検討します。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化を図った	
事業目標量	ホームページなどによる情報提供を充実させる。アダプト団体の交流の場を提供し、活動を活性化させ、情報交換を促進する。	
第三期事業量	平成29年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
	平成30年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
	平成31年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
第四期事業量	令和2年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
	令和3年度	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化
令和3年度事業報告		
事業目標	市ホームページの充実、アダプト制度による市民活動の活性化	
事業実績	市広報へのアダプト制度の募集記事の掲載を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	登録団体数及び人数の維持が図れたため。 (令和2年度:37団体/317名・令和3年度36団体/307団体)	
今後の対応	ホームページの内容の充実を図り、市民活動の活性化を促進する。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<p>・アダプト制度が維持されていることは評価いたします。ただし、昨年度は新たな加入があったのに対し、今年度は団体数・人員数とも減少があったことは気になります。退会の事情などは、今後の充実に活かしていただきたいです。ただし、これらは大きな目標に対する環境整備であり、本来目標である市民活動の活性化や、他件目標ですが人材育成につながる事が重要です。</p> <p>・活動してくれる人が集まりにくい状況の中で、地道な取り組みが評価される。</p> <p>・登録者の維持はできたが、多数の参加者による活発な活動こそが重要だと思ふ。</p> <p>・アダプト制度により、市民活動が活発になり、人材育成にもつながる。</p>	

その他-1

施策の展開方針	稲城市の緑を保全するために平成2年度から積み立てている緑化推進基金の活用方針について検討します。
担当課	緑と環境課
対象施設など	市内全域
2年間の目標	緑化推進基金の活用方針の検討
展開手法など	公共空間としての緑地の確保、公共施設や民有地での緑資源の育成、緑化推進制度の普及、啓発等に寄与する、緑化推進基金の活用方針について検討します。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	—	
事業目標量	緑化推進基金の活用方針の検討	
第三期事業量	平成29年度	
	平成30年度	
	平成31年度	
第四期事業量	令和2年度	緑化推進基金の活用方針の検討
	令和3年度	緑化推進基金の活用方針の検討
令和3年度事業報告		
事業目標	緑化推進基金の活用方針の検討	
事業実績	緑化推進基金の活用方針の検討を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	予定していた、大丸自然公園の用地取得に緑化推進基金を活用しなかったため。	
今後の対応	引き続き活用方針の検討を行う。	

評価 (◎、○、△、×、—)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・活用方針の活用が検討できるようになった。 ・基金という貴重な資源ですので、「活用しなかった」ことは評価されて良いと思いますが、実績報告としては、活用せずにすんだ事情や、その効用などにも触れていただけるとありがたいです。 ・今後、緑化推進基金の有効活用方針を検討することが期待される。 ・有効に活用でき、効果的で実のある利用ができればと思う。 	

その他-2

施策の展開方針	稲城市の公共施設における植栽方法などを定めた「稲城市樹木花卉植栽計画」が平成6年3月に策定されました。計画策定から約25年が経ち、さまざまな状況変化を考慮した計画の見直しが必要なため、既存植栽の維持管理手法も含め、稲城市樹木花卉植栽計画の改定を行います。
担当課	緑と環境課
対象施設など	市内全域
2年間の目標	稲城市樹木花卉植栽計画の改定
展開手法など	市民意識の変化、社会情勢の変化、新たな道路の整備計画を考慮し、既存植栽の維持管理も含め、稲城市の植栽のあり方の検討を行い、稲城市樹木花卉植栽計画の見直しを行います。

担当課別行動計画

担当課名	緑と環境課	
令和3年3月末の状況	—	
事業目標量	稲城市樹木花卉植栽計画の改定	
第三期事業量	平成29年度	
	平成30年度	
	平成31年度	
第四期事業量	令和2年度	稲城市樹木花卉植栽計画の見直し検討
	令和3年度	稲城市樹木花卉植栽計画の改定
令和3年度事業報告		
事業目標	稲城市樹木花卉植栽計画の改定	
事業実績	なし	
担当課評価	×	
評価理由	改定に至っていないため。	
今後の対応	見直し方針の検討を進める。	

評価 (◎、○、△、×、—)	× 評価できない(まったく進んでいないなど)
令和3年度事業報告に対する意見	
<p>・28年ぶりの改定になるので植栽も変化しているものと思います。十分時間をかけて進める必要があると考えます。</p> <p>例えば、街路樹でも桜とゆりの木、ケヤキと云った現状に合わない樹木もあり検討が必要です。</p> <p>・長らく手をつけられていなかった計画ですので、拙速よりは慎重な準備と検討が必要と思います。従って、改定できなかったことを責めるものではありませんが、昨年度の見直し方針を検討し課題を整理したという実績に対し、本年度は手が止まってしまったのか、昨年度の継続で課題整理は進めることができたのか、報告で触れてほしかったです。課題の整理が深まっていれば、本番の新計画にも期待がもてます。今後に期待します。</p> <p>・緑豊かな稲城市にふさわしい樹木花卉植栽計画(理念・基本的な考え方などを含む)の策定が望まれる。</p> <p>・計画改定できなかった。</p>	